

大地しんがきた

1995 (平成7) 年1月17日午前5時46分、
 淡路島をしんげんに、大地しんが起きました。当時、
 だれもけいけんしたことのないような大きなゆれが起き、
 日本ではじめてしん度7がてきようされました。

地しんのゆれと広がり方

地しんが起きると地面がたてや横
 に大きくゆれます。ゆれ方の強さを
 「しん度」といい、0から7までの
 数字で表します。
 地しんのゆれは、しんげん地から
 まわりに広がっていきます。



↑ こわれたビル (神戸市兵庫区)

↑ こわれた駅 (阪急伊丹駅)

↑ やきつくされた住たく地 (神戸市長田区)

↑ たおれてこわれたみんな家 (淡路市野島曇浦)

↑ 教室前のろうか (若屋市立朝日ヶ丘小学校)

← 横だおしになった阪神高速道路神戸線 (神戸市東灘区)

(写真提供 神戸新聞社)

しん度とゆれ



0 人がゆれを感じない。

1 屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。

2 おき物がたおれることがある。



3 たなの食きが落ちたり、こ定していない家具がたおれたりする。

4 こ定していない家具のほとんどがい動し、たおれるものが増える。立っていることがこんなんになる。



5 たいしんせいのひくいいたて物は、かたむくものやたおれるものが増える。